



---

## 第65期 報告書

2011.3.1 ▶ 2012.2.29

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード 8016



代表取締役会長兼社長 廣内 武

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2012年2月29日をもちまして、第65期の事業年度を終了いたしました。ここに第65期報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

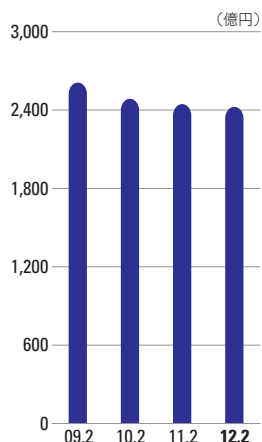
今期の国内事業におきましては、上期の震災の影響を吸収するため、アパレル関連事業は、株式会社オンワード樫山を中心に積極的な商品施策と販売施策を進めるとともに、効率的な経営に努めたことにより、下期は業績が向上し、通期で増益となりました。

また、海外事業におきましては、欧州地区のアパレル関連事業の収益が大きく改善したことにより、増収増益を達成いたしました。

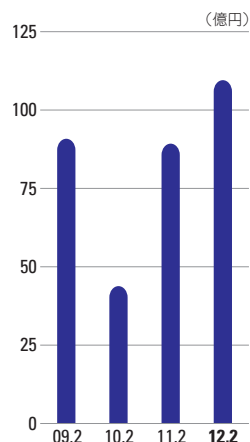
次期より当社グループは、「ファッション」を基軸に新たな成長ステージへ向う新中期三ヵ年経営計画をスタートさせ、成長戦略を推進してまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

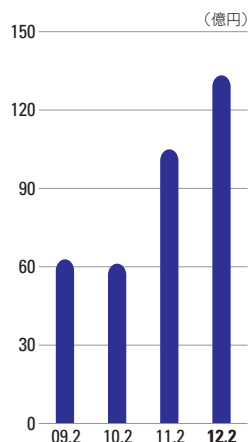
連結売上高



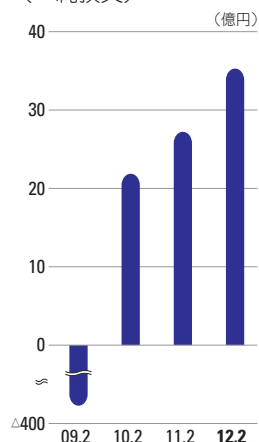
連結営業利益



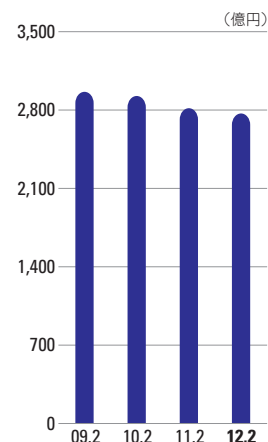
連結経常利益



連結当期純利益  
(△純損失)



連結総資産



(百万円)

	2009.2	2010.2	2011.2	2012.2
連結売上高	261,005	248,634	244,550	242,402
連結営業利益	9,084	4,383	8,928	10,953
連結経常利益	6,285	6,120	10,497	13,329
連結当期純利益(△純損失)	△30,895	2,187	2,722	3,529
連結総資産	296,282	292,568	281,642	276,939
連結純資産	158,418	158,164	158,744	157,302
連結1株当たり当期純利益(△純損失)(円)	△197.21	13.97	17.38	22.52



「23区」

## 事業環境と業績全般について

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から着実な回復が見られたものの、欧州債務問題による世界経済の減速懸念や円高の長期化などにより、国内景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、震災の影響による消費マインドの冷え込みは、復興需要などに支えられて予想以上に早く持ち直したものの、全般的にはデフレ基調が続く厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループの国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、積極的な

商品提案による販売強化と効率的な経費管理に努めたことにより、下期の増収増益、通期でも震災の影響を吸収し増益を達成いたしました。また、海外事業につきましては、欧州地区が大きく収益改善したことにより、計画通り増収増益を達成いたしました。

### 第65期(2012年2月期)連結業績実績

売上高	2,424億 2百万円	(前期比	0.9%減)
営業利益	109億 53百万円	(前期比	22.7%増)
経常利益	133億 29百万円	(前期比	27.0%増)
当期純利益	35億 29百万円	(前期比	29.6%増)



「自由区」



「グレースコンチネンタル」

を大幅に上回る業績を達成するなど、国内事業全体としては、通期で増益となりました。

海外事業につきましては、欧州地区において、ジボ・コーグループが生産性の向上と関係企業のシナジー効果の拡大により、大幅な収益改善がはかれたことで、アジア地区が前年実績を下回ったものの、海外事業全体で増収増益を達成いたしました。

#### ■アパレル関連事業

売上高	2,300億 20百万円	(前期比)	0.8%減
営業利益	143億 2百万円	(前期比)	16.6%増

## 事業セグメント別の概況

### ■アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、上期の震災の影響を吸収するため、下期は基幹ブランドを中心に積極的な商品施策と販売施策を進め、ブランド横断企画の戦略商品や付加価値を高めた防寒衣料を集中して展開するとともに、効果的な販売促進を含めた販売強化策を実施したことで増益を達成いたしました。また、市場拡大が進むネットビジネスにおいて、株式会社オンワード樫山をはじめとする国内アパレル子会社での、展開ブランドの拡大やサイトの充実、会員数の増加等により、計画



「ジル・サンダー ネイビー」

## ■その他の事業

サービス関連事業につきましては、商業施設の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターにおいて、下期の業績回復により改善が進み、ファッション物流事業のアクロストランスポート株式会社において、グループ以外の物流受託を積極的に拡大したことにより、計画を上回る増収増益を達成いたしました。また、リゾート関連事業につきましては、震災以降の予約キャンセル等による大幅な集客の減少により減収減益となりました。

## ■その他の事業

売上高	215億 72百万円 (前期比 1.0%減)
営業利益	1億 31百万円 (前期比 215.8%増)



オンワードビーチリゾートグアム



アクロストランスポート



「ジル・サンダー」

## 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、わが国経済は円高の長期化や欧州債務問題等による世界経済の減速懸念もあり、景気回復力は依然として弱いものと予想されます。また、個人消費につきましても、震災からの復興需要はあるものの、所得環境の厳しさは続き、生活防衛意識も根強く、予断を許さない状況が続くと思われまます。

このような経営環境のなか、当社グループといたしましては、「ファッション」を基軸に新たな成長ステージへ向かう、

新中期三ヵ年経営計画を策定し成長戦略を推進してまいります。

国内事業につきましては、新規ビジネスや新たに開発・強化する事業部門へ既存ビジネスの人員をシフトさせることで、事業拡大と経費構造の改善を進めてまいります。さらに、市場の成長とともに順調に収益拡大しているネットビジネスは、オンワードグループのネットワークを活用した内容の充実・展開ブランドの拡大や会員の増加などにより成長を加速させてまいります。また、グループの成長性を高め、シナジー効果が見込めるM&Aにつきましては、慎重に検討したうえで積極的に進めてまいります。

海外事業につきましては、欧州地区を起点としたグローバルビジネスを成長軌道にシフトさせ、海外事業における収益拡大の中核ビジネスにしてまいります。北米



「オープニングセレモニー」ルミネ新宿店



「ローズブリット」王府井百貨店（中国）

地区におきましては、ニューヨークに新たな企画拠点を設置し、今後の事業拡大のための基盤の確立を進めるとともに、既存ビジネスの収益改善をはかってまいります。また、アジア地区におきましては、生産事業は、生産地域拡大と自主生産力の強化によりローコスト生産体制を継続的に推進するとともに、販売事業は、既存店舗の大型化より売上効率を高め、新規店舗の開発と卸売事業を拡大し成長性を加速してまいります。

#### 第66期(2013年2月期)連結業績予想

売上高	2,666億円	(前期比 10.0%増)
営業利益	138億円	(前期比 26.0%増)
経常利益	154億円	(前期比 15.5%増)
当期純利益	50億円	(前期比 41.7%増)

## 「ICB NY エクスクルーシブコレクション」 東京・日本橋三井ホールで披露

当社は、今秋冬から北米で新たにスタートするレディースファッションブランド「ICB NY エクスクルーシブコレクション」を、ジャパン・ファッション・ウィーク（JFW）のスペシャルイベントとして東京・日本橋三井ホールで披露いたしました。



チーフデザイナーのプラバル・グルン氏は東京での発表のため初来日

同コレクションは、チーフデザイナーにニューヨークの新進デザイナーのプラバル・グルン氏を起用し、ニューヨーク・ファッション・ウィークに合わせて、世界初となるデジタル形式でプレゼンテーションを実施。今回のイベントでは、プレゼンテーションの映像を実際にランウェイで再現いたしました。

『ICB』のシャープでクリーンなイメージに、プラバル・グルン氏のエレガントでスタイリッシュな感性が加わった洗練されたコレクションで、ニューヨークのリアルクローズを表現いたしました。

同コレクションは、本年8月から米国のバーニーズニューヨーク18店舗での展開が決定しております。また、日本を含むアジアにおきましても、今秋冬から一部の店舗で販売予定となっており、欧州においても来年度からの展開を計画しております。

この度の東京での発表は、初来日のプラバル・グルン氏出席のもと、40ルックスに及ぶ新作をランウェイ形式のファッションショーとして行いました。国内の有力百貨店バイヤーを始め、ファッションジャーナリスト、ファッションを専攻している学生など、合計で約1,200名を招待いたしました。





シャープでクリーンなイメージに、  
エレガントでスタイリッシュな感性が加わった  
洗練されたコレクション

## 熊川哲也氏率いるKバレエカンパニーの2012年全公演 冠スポンサーとして特別協賛

当社は、熊川哲也氏が率いるKバレエカンパニーが2012年に行う全ての公演に、冠スポンサーとして特別協賛することで、バレエ芸術の発展に寄与するとともに、人々の豊かな生活づくりに貢献してまいります。

熊川哲也氏とは、当社グループ企業であるチャコット株式会社を通じて、Kバレエカンパニーが設立された当初から、バレエ製品をご使用いただいたり、Kバレエスクールの発表会をサポートするなど、10年以上のご縁もあって、今回の特別協賛につながることとなりました。

冠スポンサーとなる公演は、「シンデレラ」全12公演、「海賊」全16公演、「トリプル・ビル」全6公演、「ドン・キホーテ」



2月公演の「シンデレラ」で舞踏会に向かうシンデレラのシーン  
シンデレラ役を演じたのは、Kバレエカンパニープリンシパルの松岡梨絵さん



2月の記者会見には、熊川哲也氏（中央左）、廣内武オンワードホールディングス会長兼社長（同右）、信国一朗TBSテレビ常務（左）、渡辺惇Bunkamura社長（右）が出席

全15公演、「くるみ割り人形」全8公演の合計5演目の計57公演となります。

また、熊川哲也氏は、2012年から5年間、Bunkamura オーチャードホールの初代芸術監督に就任。記念となる公演第1弾に、オンワードプレゼンツ・Kバレエカンパニー「シンデレラ」が選ばれました。

Kバレエカンパニーは、妥協なきこだわり貫かれた至高のファンタジーで、人々に感動を与え続けており、私たちオンワードの、ファッションを通じて人々を感動させたいと願う想いと一致しております。クリスマスまでの1年を通じた公演が、人々を元気にし、日本を明るくしてくれることを、心より願っております。



## 環境経営への取り組み

環境活動を経営施策のひとつに掲げ、  
地球と人々の共生をめざしたチャレンジを続けております。

### オンワード・グリーン・キャンペーン

## 回収衣料から毛布や軍手を作り、日本赤十字社を通じて 世界の難民や災害支援などに寄贈

当社は、“この地球を想う。この服をまとう。”を環境コンセプトに掲げ、環境経営を推進しております。その一環として、株式会社オンワード樫山が販売した衣料を百貨店の店頭で引き取り、可能な限りリサイクル、リユースすることを通じて、衣料品の循環システムの構築をめざす「オンワード・グリーン・キャンペーン」を2009年度からスタートいたしました。

2011年度までの累計で、106,771名のお客様から552,532点の衣料をご提供いただき、リサイクル57%、リユース43%で活用いたしました。またリサイクルに関しては、回収衣料から毛布9,300枚、軍手221,080双を生産し、社会貢献活動に活用しております。

2012年3月には、2011年にお引き取りした衣料をリサイクルして作った毛布2,000枚を、四川大地震にて被災し、現在も赤十字社による復興支援活動の続いている四川省山間部の学校

を中心に寄贈いたしました。山間部では朝夕の気温低下が著しく、冷え込みが厳しい日が多く、暖を取るふとんや毛布が必需品となります。今回の寄贈した毛布は、寄宿舎に入居する子供達に使用していただきます。



2012年3月、中国四川省での寄贈式にて毛布を手に見せる子供たち

連結貸借対照表

(百万円)

	前期 2011年2月28日現在	当期 2012年2月29日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	95,544	98,895
現金及び預金	30,939	33,192
受取手形及び売掛金	25,399	25,256
商品及び製品	25,738	26,591
原材料及び貯蔵品	3,364	3,492
仕掛品	1,254	1,360
繰延税金資産	4,074	3,820
その他の流動資産	5,497	5,567
貸倒引当金	△723	△387
<b>固定資産</b>	186,097	178,044
<b>有形固定資産</b>	86,622	82,987
建物及び構築物	25,531	24,398
機械装置及び運搬具	393	377
工具器具備品	3,835	3,997
土地	53,100	49,413
その他の有形固定資産	3,762	4,800
<b>無形固定資産</b>	46,745	43,495
ソフトウェア	1,560	1,332
のれん	43,731	40,793
その他の無形固定資産	1,453	1,368
<b>投資その他の資産</b>	52,729	51,561
投資有価証券	34,592	35,179
長期貸付金	4,839	5,028
長期前払費用	750	743
繰延税金資産	5,627	4,495
差入保証金	8,463	8,136
その他の投資	810	780
貸倒引当金	△2,354	△2,801
<b>資産合計</b>	281,642	276,939

(百万円)

	前期 2011年2月28日現在	当期 2012年2月29日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	82,677	84,091
支払手形及び買掛金	32,703	33,238
短期借入金	27,353	26,427
1年内返済予定長期借入金	3,533	3,438
1年内償還予定社債	151	277
未払金	2,513	2,755
未払費用	5,663	5,438
未払法人税等	4,533	5,699
未払消費税等	949	771
賞与引当金	1,568	1,266
役員賞与引当金	299	267
返品調整引当金	869	513
ポイント引当金	163	202
建替関連損失引当金	—	1,320
その他の流動負債	2,373	2,475
<b>固定負債</b>	40,220	35,545
社債	367	90
長期借入金	22,298	19,640
再評価に係る繰延税金負債	5,941	3,966
退職給付引当金	3,468	4,122
役員退職金引当金	119	139
預り保証金	1,524	1,242
その他の固定負債	6,501	6,344
<b>負債合計</b>	122,898	119,636
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	174,453	176,320
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	117,776	119,524
自己株式	△23,445	△23,326
<b>その他の包括利益累計額</b>	△17,405	△20,327
その他の有価証券評価差額金	△2,837	△3,792
繰延ヘッジ損益	△5	9
土地再評価差額金	△11,003	△12,502
為替換算調整勘定	△3,557	△4,042
<b>新株予約権</b>	532	653
<b>少数株主持分</b>	1,163	656
<b>純資産合計</b>	158,744	157,302
<b>負債及び純資産合計</b>	281,642	276,939

## 連結損益計算書

(百万円)

	前期	当期
	2010年3月1日から 2011年2月28日まで	2011年3月1日から 2012年2月29日まで
<b>売上高</b>	244,550	<b>242,402</b>
売上原価	128,725	<b>127,288</b>
売上総利益	115,825	<b>115,113</b>
販売費及び一般管理費	106,896	<b>104,159</b>
<b>営業利益</b>	8,928	<b>10,953</b>
営業外収益	4,165	<b>3,860</b>
営業外費用	2,597	<b>1,484</b>
<b>経常利益</b>	10,497	<b>13,329</b>
特別利益	486	<b>1,094</b>
特別損失	2,431	<b>3,353</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	8,552	<b>11,070</b>
法人税、住民税及び事業税	5,555	<b>7,528</b>
法人税等調整額	153	<b>△77</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	—	<b>3,619</b>
少数株主利益	120	<b>90</b>
<b>当期純利益</b>	2,722	<b>3,529</b>

## 連結株主資本等変動計算書(2011年3月1日から2012年2月29日まで)

(百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
<b>2011年2月28日残高</b>	30,079	50,043	117,776	△23,445	174,453	△2,837	△5	△11,003	△3,557	△17,405	532	1,163	158,744
<b>連結会計年度中の変動額</b>													
剰余金の配当			△3,760		△3,760								△3,760
当期純利益			3,529		3,529								3,529
自己株式の取得				△2	△2								△2
自己株式の処分			△82	121	38								38
土地再評価差額金の取崩			2,061		2,061								2,061
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△954	15	△1,498	△484	△2,922	121	△506	△3,308
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	—	—	1,747	118	1,866	△954	15	△1,498	△484	△2,922	121	△506	△1,441
<b>2012年2月29日残高</b>	30,079	50,043	119,524	△23,326	176,320	△3,792	9	△12,502	△4,042	△20,327	653	656	157,302

会社の概要(2012年2月29日現在)

社名	株式会社 <b>オンワードホールディングス</b> ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粹持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	36名(連結従業員数:3,993名)
所在地	東京都中央区京橋一丁目7番1号 (注) 本自社屋建替えのため、2012年5月7日付にて、本社所在地を上記住所へ仮移転いたしました。
主要関係会社	株式会社オンワード樫山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社アイランド バスストップ株式会社 アクロストランスポート株式会社 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社ブックレット 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー ジョゼフLTD. シボ・コーS.P.A. シルサンダーイタリアS.P.A. フリードオブロンドンLTD. オンワードビーチリゾートグアムINC. ジェイプレスINC. 恩瓦徳時尚貿易(中国)有限公司

取締役および監査役(2012年5月24日現在)

代表取締役会長兼社長	廣内 武
専務取締役	吉沢正明
常務取締役	飯塚賢一
取締役	馬場昭典
取締役	山田博明
取締役	本庄八郎
取締役	中村嘉秀
常勤監査役	山本昭登
常勤監査役	青山 仁
監査役	矢部丈太郎
監査役	大橋一章

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
2. 監査役 矢部丈太郎、大橋一章の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。  
3. 取締役 馬場昭典氏は、グループの中核事業会社である株式会社オンワード樫山の代表取締役社長執行役員を兼任しております。

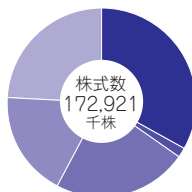
株式の状況(2012年2月29日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	172,921,669株
株主数	11,305名

(注)発行済株式の総数には、自己株式16,162千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	57,148千株	33.1%
証券会社	3,153	1.8
その他の法人	39,976	23.1
外国法人等	31,364	18.1
個人・その他	41,280	23.9



(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。

大株主(上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
公益財団法人 櫻山奨学財団	8,710千株	5.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,830	4.3
日本マスター・トラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,668	4.2
日本生命保険相互会社	6,227	3.9
株式会社 三越伊勢丹	5,001	3.1
第一生命保険株式会社	4,200	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,159	2.6
株式会社丸井グループ	3,417	2.1
イディビシー バンク ビール社 クライアソウ ユーケー タクスドリーター	3,114	1.9
オンワードホールディングス取引先持株会	3,041	1.9

(注) 1. 当社は自己株式16,162千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2. 持株比率は、自己株式16,162千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所 市場第1部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年5月中	公告掲載URL	<a href="http://www.onward-hd.co.jp/">http://www.onward-hd.co.jp/</a>
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		



当冊子についてのお問い合わせ先

**株式会社 オンワードホールディングス**

〒104-8329 東京都中央区京橋1-7-1

TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。